

ステージ4 座学：中琉球はえらい！

- 日時：平成22年10月16日（土）午後5時～7時
- 実施場所：やんばる野生生物保護センター「ウフギー自然館」
- 参加者：国頭村11名、大宜味村4名、東村4名 合計19名
- 講師：村山望（新星出版）
- プログラムのねらい

講座の導入と、やんばるの生物多様性について学んでもらいたい。

- プログラムに必要な3つの要素

- 要素1.
やんばるの固有種、貴重種の紹介をし、なぜ、やんばるにこれだけ貴重な生物が残っているのかを知るきっかけになる。
- 要素2.
ウフギー自然館の展示を利用し、館内でのガイドウォークというイメージで、やんばるに住む生物たちを楽しく紹介する。
- 要素3.
私たちのすぐ近くにすんでいる貴重な生物たちを守っていくにはどうしたらいいのか考える機会になる。



講師：村山 望さん

主催者
あいさつ



やんばる野生生物保護センターの加藤さんの主催者あいさつで今年も3村たまた箱講座がはじまりました。



座学



「やんばるの生物」や「生物多様性」について、わかりやすい写真や説明を見ながら学びました。

趣旨説明



館内
ガイド
ウォーク

館内の展示を利用し、村山さんをガイドに、本物の営巢木、剥製、鳴き声などを実際に見て・聞いて・体験しながら、ウォークツアーをしました！

参加者アンケート

◆発見・魅力を感じたところは？
中琉球にはたくさんの生物がいる、中琉球はスゴイ！、北・中・南琉球というすみわけがある・・・

◆わくわく・楽しいと感じたのは？
標本や剥製を実際にみて、生物の鳴きまね（リアルでした！）、講師の方の実体験の話・・・

◆自然を守りながら活用する為には？
自分が今住んでいる所を知ること、身近な自然を考える・見直すこと、人の適切な自然とのかかわり方、やんばるの森がなくなったことを考えてみる、環境教育、人材育成、3村がやんばるの自然に共通認識を持つ・・・

◆気づいたこと、その他
村山さんのキャラに笑いっぱなしで、こんなにラックスした講座もいいなと思った。

